みのかも定住自立圏
第3次共生ビジョン

【第６回変更】

美濃加茂市　坂祝町　富加町　川辺町　七宗町
八百津町　白川町　東白川村

令和８年１１月１日公表

目　　次

ページ

1　定住自立圏及び市町村の名称 **1**

定住自立圏の名称

圏域を形成する市町村の名称

2　定住自立圏圏域の概況 **2**

定住自立圏の状況

将来における人口ビジョン

3　定住自立圏共生ビジョンの基本方針 **4**

定住自立圏共生ビジョン策定の意図

定住自立圏の将来像

定住自立圏共生ビジョンの期間

4　５つの重点分野 **9**

5　将来像に向けた具体的取り組み **12**

将来像の実現に向けた具体的取組の総括表 12

重点事業 14

基本事業 18

6　みのかも定住自立圏のあゆみ **25**

参考資料 **27**

1　定住自立圏及び市町村の名称

■定住自立圏の名称　みのかも定住自立圏

■圏域を形成する市町村の名称

美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町
八百津町、白川町、東白川村



2　定住自立圏域の概況

■定住自立圏の状況

当圏域は、東海環状自動車道、国道２１号、国道４１号、国道２４８号、国道２５６号、国道４１８号といった主要道路が走る交通の要衝です。特に国道４１号は、名古屋都市圏と直接つながり、当圏域の背骨であり玄関口となっています。また、鉄道は、ＪＲ高山本線、太多線及び長良川鉄道が交わっています。

当圏域は、北部は飛騨や奥美濃の山並みに面し、飛騨川が北から南へと流れ、南部は木曽川沿いの肥沃な低地である濃尾平野に位置する豊かな自然環境を有する地域で、「飛騨木曽川国定公園」の一部となっています。

近年では、名古屋市や岐阜市から約３０ｋｍ圏内にある利便性により、ヤマザキマザックマニュファクチャリング㈱美濃加茂製作所、マクセルフロンティア㈱岐阜事業所、㈱モンテール美濃加茂工場、藤本食品㈱、大王製紙㈱、㈱Mizkan美濃加茂工場、セブン工業㈱等大型企業が立地し、岐阜県下でも上位に位置する製造品出荷額を誇る地域となっています。

梨や柿などの果物の栽培が盛んであり、特に、堂上蜂屋柿は、千年以上の歴史があり、食の世界遺産と言われる「味の箱舟」や、地理的表示保護制度(GI)に認定され、圏域を代表する特産品となっています。山里特有の気候が生み出す白川茶や八百津の栗きんとん、豊かな水が生み出す清酒など特産品の種類も豊富です。

観光分野では、雄大な木曽川と「中山道太田宿」、「リバーポートパーク美濃加茂」、飛騨川の「川辺漕艇場」や「飛水峡」、富加町の「加治田城」、白川町・東白川村の清流白川やキャンプ場、八百津町の「杉原千畝記念館」「五宝の滝」、七宗町の「神渕川のホタル」など多様な観光資源が分布しています。

産業の集積に伴う雇用をはじめ、高度救急医療施設、福祉施設、教育機関等の都市機能が集中する美濃加茂市を中心として、安心・安全や文化・経済などの幅広い分野で交流する圏域となっています。

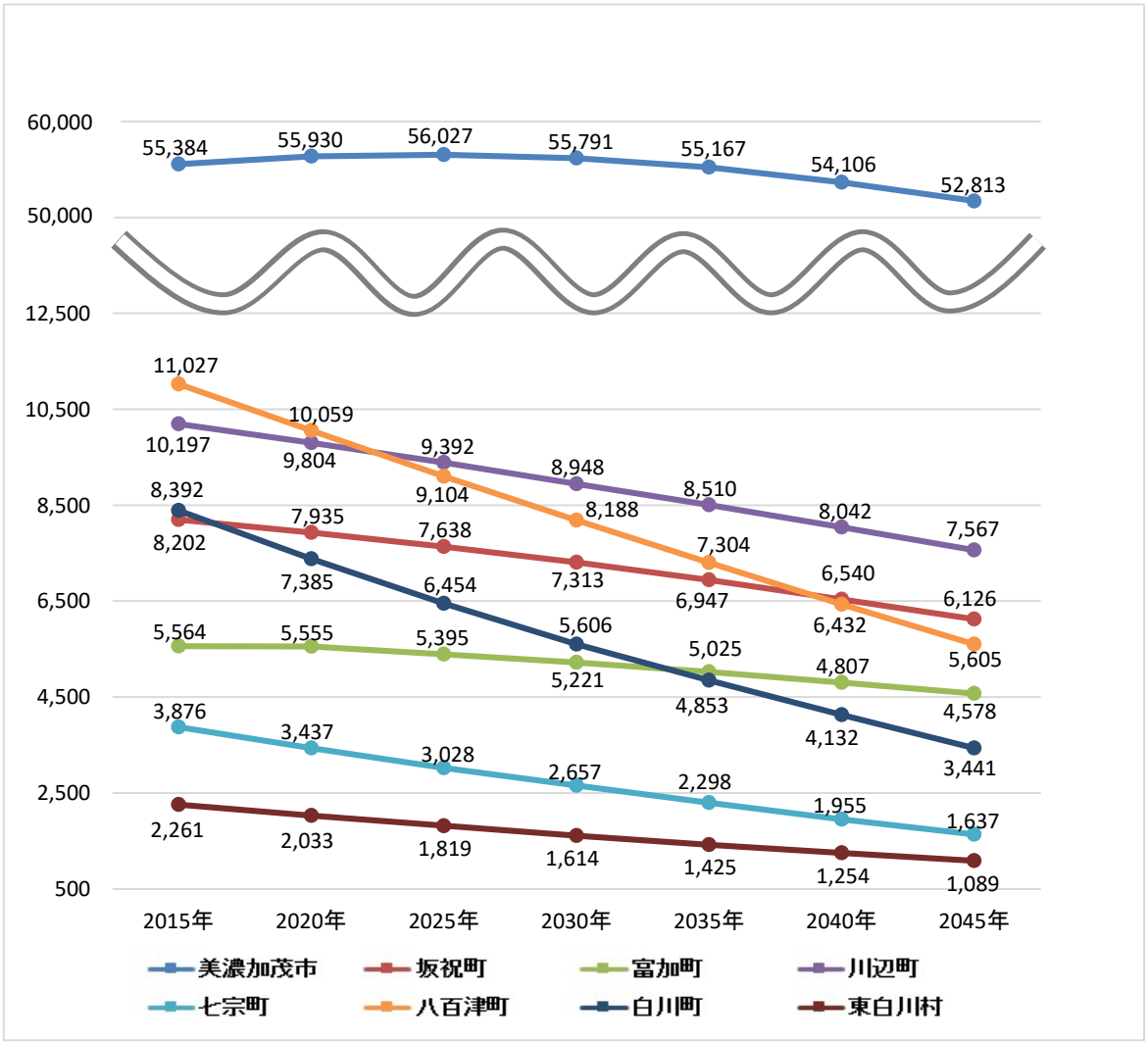
■将来における人口ビジョン

１．将来推計人口

みのかも定住自立圏における将来推計人口の状況は、美濃加茂市においては、2025年までは増加し、それを境に減少に転ずることが見込まれています。一方、周辺7町村では年々減少を続けていくことが見込まれています。

圏域全体の推計人口は、美濃加茂市の増加を周辺町村の減少が上回る形となり、減少していくことが予想されています。

（単位：人）

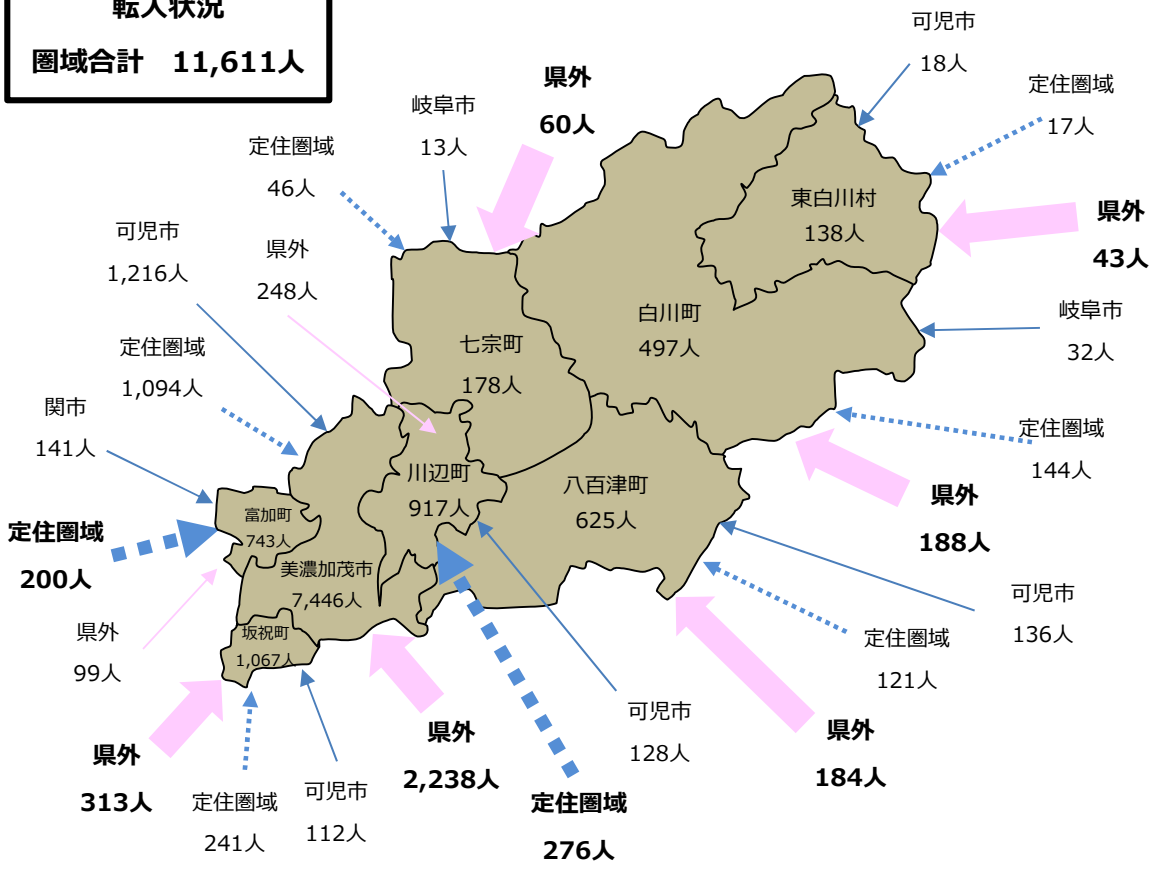


出典：2018　国立社会保障・人口問題研究所
※移動人口の影響も含めた推計

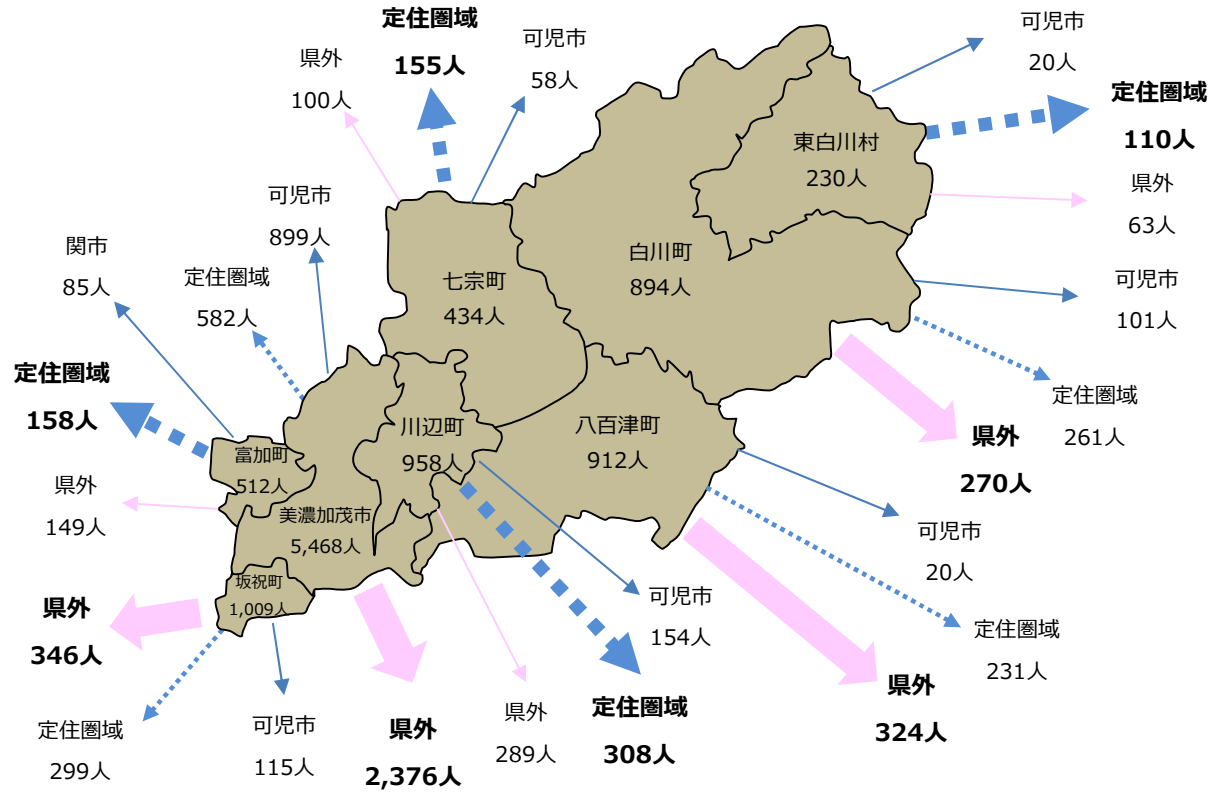
4．転入転出状況

出典：2015　国勢調査

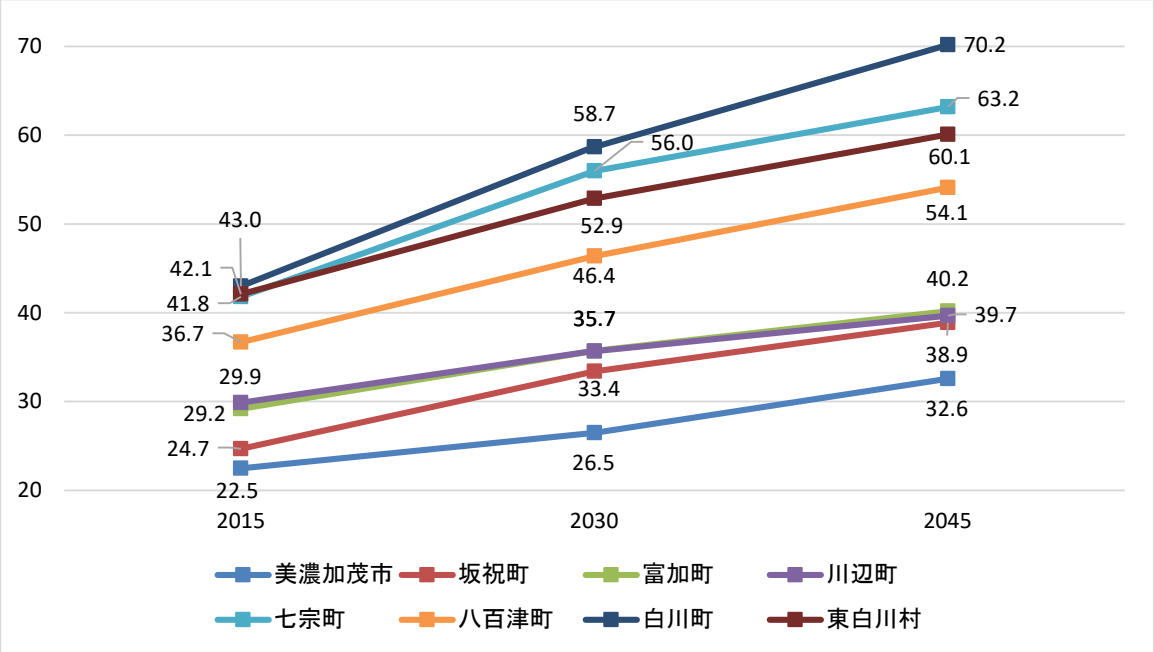
転入状況
圏域合計　11,611人



転出状況
圏域合計　10,417人



2．65歳以上の推計人口割合



出典：2018　国立社会保障・人口問題研究所

3．みのかも定住自立圏における人口ビジョン

　みのかも定住自立圏では、構成8市町村が連携し、「住み続けたいまち、住んでみたいまち」の実現に向け、共生ビジョンに位置づける事業を推進するとともに、各市町村がそれぞれの特色を活かし、必要性に応じた事業を実施することにより、各市町村の掲げる人口ビジョンの達成を目指します。

（単位：人）

	実績値				人口ビジョン数値	
	2005年	2010年	2015年	2020年	2040年	2060年
美濃加茂市	52,133	54,729	55,384	56,876	58,627	57,000
坂祝町	8,552	8,361	8,202	8,329	7,421	6,500
富加町	5,710	5,516	5,564	5,613	5,100	4,700
川辺町	10,838	10,593	10,197	9,906	9,100	8,100
七宗町	4,870	4,484	3,876	3,448	2,777	2,213
八百津町	12,935	12,045	11,027	10,286	7,368	4,984
白川町	10,545	9,530	8,392	7,499	5,602	4,600
東白川村	2,854	2,514	2,261	2,032	1,887	1,734
合計（圏域）	108,437	107,772	104,903	103,989	97,882	89,831

※2005年、2010年、2015年については、国勢調査数値、2020年は令和元年度岐阜県人口動態統計調査数値
※人口ビジョン数値は、各市町村人口ビジョンによる

3　定住自立圏共生ビジョンの基本方針

■定住自立圏共生ビジョン策定の意図

近年、私たちの暮らしを取り巻く環境は人口の減少や少子高齢化、経済のグローバル化、大規模自然災害の多発など、かつて経験したことのない大きな変革、変動の時代を迎えています。また、今後はこの地域の人口減少、少子高齢化が進み、今後はよりその状態が加速していく見込みです。そういった状況が進む中で、地域社会が抱える課題は多種多様で、その全てを１つの自治体だけで対応・解決していくことはより一層厳しくなっていくことが予想されます。

その問題を解決するべく、この先50年後の圏域の未来をつくるためにも、人口の定住化を図るとともに、地域社会が自立した機能を持つことが必要です。美濃加茂市と加茂郡は、古くから人や物の交流が深く、生活圏や文化圏、豊かな自然を共有してきたことで、互いの結びつきが強く、共存関係を形成してきました。

そういった関係があるからこそ、美濃加茂市と加茂郡が１つの圏域として「強み」を活かし、「弱み」を互いに補完しながら、自治体の垣根を超え、圏域として課題解決を目指すために定住自立圏共生ビジョンを策定します。

■定住自立圏の将来像

圏域のあるべき将来像を次のとおり掲げます。



美濃加茂市と加茂郡それぞれがもつ「人」、「暮らし」、「文化・伝統」、「自然環境」などのさまざまな資源や機能がつながることで生まれる魅力を、圏域が一体となって守り、未来に向けて成長させていくことで、若者たちが圏域に愛着を持つことにより、将来彼らが、圏域の担い手として活躍ができるよう若者たちの定住化を進めます。

また、連携市町村がそれぞれの役割を担い、互いになくてはならない関係を築き上げ、ヒトやモノを圏域内で循環させることにより、経済的に自立した力強い圏域を作っていきます。

そして、国籍、文化などの違いを超え、一人ひとりがお互いを理解し、認め合うことができる地域を目指します。

「若者たちの定住化」「自立した力強い地域」「一人ひとりが互いに認め合う地域」、この３つを実現させることにより、「住み続けたい、住んでみたいまち」と思える圏域を目指していきます。

この将来像実現にあたっては、国際目標である持続可能な開発目標（SDGｓ）の理念を尊重し、将来世代が希望を持ち続けることができる持続可能な圏域づくりを進めていきます。

■定住自立圏共生ビジョンの期間

このビジョンの期間は、令和３年度から令和７年度までの５年間とし、毎年度、所要の見直しを行います。

■定住自立圏共生ビジョンの基本方針

第1次 共生ビジョン
平成22年～26年

第1次共生ビジョンでは、同構想への参加を求める加茂郡町村と順次協定を締結し、1市7町村でみのかも定住自立圏を形成しました。次の基本姿勢を元に、圏域の連携による効率化（主に行政事務）や効果が高まる事業を展開しました。

基本姿勢１　民間の意欲と発想を引き出し、新たな事業モデルを創造します

基本姿勢２　時代の変化をとらえた新しい公共のあり方を示します

基本姿勢３　目的や期待される効果を明確にした分かりやすい計画とします

効　果

①行政事務の効率化につながった。
②行政界を越えた住民の交流が生まれた。

課　題

①広域行政的な事業が増加し、地域差のある課題解決への町村の独自性が低下
②単なる財源として既存事業への充当
③自治体の距離等による構成町村による取組への温度差
④事業への公平配分は困難
⑤中心市の事業に対する負担の増大

第2次 共生ビジョン
平成27年～令和２年

第1次の課題を受け第2次では・・・

次の4つを重視し、基本方針を「都市圏とのつながり」「新しい公共」「市町村提案事業」と定め事業を展開

【個】中心市と連携町村の1対1協定を重視

【色】特色・個性のある取組を生み地域の強みをいかす

【創】新たにチャレンジする事業を創造する

【集】人口定着と都市圏から人口流入を目指す

※名古屋圏でのイメージ「地域イメージの認知度が低い」「知名度の高いイベントが少ない」⇒ 圏域の課題

基本方針１　「都市圏とのつながり」により、新たな交流をつくり、定住人口増加へつなげます

基本方針２　民間の力による「新しい公共」を実現し、いきいきと暮らせる地域を創造します

基本方針３　中心市をはじめ近隣町村からの提案事業に取り組みます

効　果

①各市町村が特色ある事業に取り組むことで都市圏住民との交流人口を生み出せている。
②各町村が主体的に事業に取り組めている。
③事業によっては、共通課題を抱える市町村の効率的な連携ができた。
④圏域外への波及を生み出した事業も見られる。

課　題

①連携市町村で取り組む事業に対する温度差が生じている。
②交流人口の増加を定住人口につなげていく事業への成長が見えていない。
③イベント事業が多く、外向きへの発信が主となり、圏域住民の関わりや認知度が低い。
④民間主体で取り組む事業が、補助終了後に継続していけるかの目途が立っていない。

第3次 共生ビジョン
令和３年～令和７年

この第３次共生ビジョンの５年間では、５０年後の将来像で目指すまちや社会を作るために、圏域にとって今作り始めなければいけない「足腰となる土台」部分を重点的に取り組みます。

圏域の足腰の部分に必要な視点として、圏域住民の心と体の健康、今後の圏域を担う未来のヒトづくり（人材育成）、住民が生活するために必要な移動手段、いつ発生してもおかしくない大規模自然災害への対策、圏域経済の活性化に働き手として必要不可欠な外国人住民の５つの視点を重点分野として位置付け、それぞれの分野に具体的なテーマを掲げ、取り組みを展開していきます。また、第１次、第２次共生ビジョンで実施してきた事業について、効果検証を行い第３次共生ビジョンの将来像実現にむけて内容を見直した上で事業を実施します。

4　５つの重点分野

健　康

生きがいを持ち、充実した生活を送ることで
生涯にわたり『私は健康です』と言えるようになる

将来像：85歳になってもなお、健康で、輝いている
テーマ：健康寿命と平均寿命の差を縮める
対　象：高齢者とこれから高齢者になる人

どの世代においても充実した生活を送るには、「体が健康である」こと、自ら「私は健康」と思える心が重要です。

現在、圏域の平均寿命は男性77.67歳～81.44歳、女性85.51歳～88.26歳、健康寿命は男性76.57歳～80.26歳、女性は82.90歳～85.67歳となっています。
圏域の高齢化率（65歳以上の割合）を見ると、平成27年の時点で圏域人口の34%にのぼり、2045年までには50%に上昇すると推計されています。

このような状況下で、今後高齢化が進む中、住民がそれぞれに生きがい（生涯学習や就労、趣味、地域活動など）を持って充実した生活を送れるよう、青壮年期から健康寿命の延伸を意識し、高齢者や将来高齢者になる世代の健康状態の維持・向上につながる取り組みを推進します。

未来のヒトづくり

子どもや若者が地域と関りながら、自分が地域に必要とされている
と感じ、将来この圏域で自分らしい生き方を実現している

将来像：いきいきと社会で活躍している
テーマ：自分が地域に必要とされていると感じる
対　象：子ども・若者

今後、圏域の人口流出や少子化が加速していくことが予測される状況の中で、持続する地域を作っていくには、将来を担う子どもや若者たちが、自分のふるさとに愛着を持ち、地域に関わり続けてもらえることが重要です。そのために、子どもや若者が地域社会の中に見つけ、自分が必要とされていると感じる「自己有用感」や「自己肯定感」を育むとともに、自立して自分らしい生き方を実現していける環境を整えることや、支援することを推進します。そして、将来この圏域で活躍する人材や圏域を支える人材の育成を目指します。

公共交通

便利で利用しやすい公共交通が身近にあることで、住民が移動する時に「公共交通」を使うことを考える地域となる

将来像：「車文化」から「車＋バス＋鉄道文化」へ
テーマ：便利で利用しやすい公共交通
対　象：子ども、高齢者

今後、高齢化により車の運転が困難になる人が増加することなどが予想され、生活していくうえで公共交通を主とする移動手段の確保がより一層重要になります。また、学生が地元の地域に住み続けながら安心して教育を受けることのできるように、自宅からの通学手段の確保が必要になります。さらに、民間バスにおいては、運転手の高齢化、担い手不足、利用者の減少などに伴う、事業撤退などが起こりつつあるなど、多くの課題を抱えているのが現状です。それには、移動手段としてより便利に、誰にでも利用しやすいように公共交通環境を整備し、日頃から高齢者、学生はもちろん、移動手段のほとんどが車という世代の圏域住民にも公共交通を利用してもらうことが重要です。

子どもからお年寄りまでが安心して生活できる環境を整備するためにも、市町村で集約と役割分担を実施し、鉄道や民間路線バス、市町村コミュニティバスなどの公共交通ネットワークを圏域一体として考え、圏域住民の生活に対応できるよう利便性を向上させるとともに、圏域住民に公共交通という移動手段を身近に感じてもらい、公共交通を利用する習慣を根付かせる意識改革に取り組みます。

防　災

風水害の対策を重点的に取り組み、行政だけでなく住民の日頃の防災意識を盛り上げることで、災害時の迅速な避難行動など対応力ある強い圏域となる

将来像：災害時こそ強い圏域
テーマ：風水害（水害・土砂災害）対策
対　象：圏域住民

南海トラフ沖地震をはじめ台風災害、豪雨災害、土砂災害などの自然災害は、この圏域においてもいつ発生してもおかしくない状況です。圏域住民が安心した生活を送るには、大前提として災害に強い圏域づくりが必要不可欠です。

災害に強い圏域づくりには、各市町村による自助、共助、公助による減災が重要であるとともに、圏域で連携し助け合って災害に対応していく必要があります。

そのためにも、災害に関する人材の育成や医療体制、職員体制や応援体制、圏域での避難体制の整備をするなど、圏域市町村で共通する内容に取り組み、圏域として災害時に迅速な対応ができる体制づくりを目指します。

外国人定住

外国人住民（パートナー）と日本人住民が互いを認め合うことで、外国人住民がこの地域に愛着を持ち、この地域の一員として活躍している

将来像：能力を活かして圏域を舞台に輝いている
テーマ：パートナー（外国人住民）と日本人住民の互いを認める
対　象：パートナー（外国人住民）

圏域南部では、外国人住民が増加し、今もなお増加し続けています。中には定住化する外国人住民も増えてきています。

日本の労働力人口減少が進む中で、外国人定住者の多くは、工場など現場で貴重な働き手として圏域の経済の活性化に欠かせない存在になっています。

そういった状況の中でこれまで、中心市の美濃加茂市をはじめ、圏域南部の自治体では、国籍や性別を問わず、互いに認め合う地域を目指して、それぞれコミュニケーションの支援や教育支援、多文化共生の地域づくりなど、外国人住民に対するさまざまな支援を実施してきました。

そしてこれからは、支援を受けた外国人住民が同じ圏域の住民として災害時などには地域の防災リーダーとしてほかの外国人住民を支えていけるような支援をします。

また、今いる外国人住民が地域の日本人住民とまちの課題に取り組むことや、新たに圏域内に定住してくる外国人住民の架け橋となれるように支援します。

5　将来像に向けた具体的取り組み

【重点事業】

分野	事業名	事業概要
健康	1　健康データ調査分析事業	健康に関するデータを収集し、データの集計・分析を実施。結果を活用した事業展開をする。
	2　24時間電話相談窓口事業	24時間365日フリーダイヤルで電話による相談窓口を設置する。
	3　かもけんウォーキング事業 ※R6年度事業終了	圏域でウォーキングイベントを開催し、休憩ポイントで地域の特産品などの試食を行ったり、魅力あるウォーキングイベントを行う。
未来のヒトづくり	4　里山まちづくり事業	里山や山村地域の暮らしや文化に触れるメニューを掘起し、企画を行い、ウェブにて情報を集約し、発信する。
	5　里育事業　※R4年度事業終了	耕作放棄地茶園を整備して出たお茶の木と、製造過程で必要な燃料に里山整備から生まれる薪を使用し里山生まれの番茶を製造する。
公共交通	6　圏域公共交通網整備事業	各市町村で運行しているコミュニティバスなどの公共交通の維持・確保と圏域内公共交通の連携を図る。
防災	7　地域防災力強化事業	災害時地域の中心となって動ける人材を育成し、そういった方々が後に活躍できる環境を整備する。
外国人定住	8　情報の多言語化、発信の支援事業	生活に必要な行政情報の翻訳、窓口での通訳体制を整えると共に、地域でのコミュニケーションを円滑にするために基礎的な日本語習得の機会を提供する。
	9　のぞみ教室推進事業	圏域外国人を対象とした生活支援・日本語学習支援や、外国人児童生徒に対する就学支援を行う。

※事業1～8が新規事業、9が2次ビジョンからの継続事業

※概算事業費は決算額を記載しており、千円未満を四捨五入しているため、小計が一致しない場合があります。

小　計

【基本事業】

分野	事業名	事業概要
―	10 里山再生プロジェクト事業	侵入竹林を伐採、広葉樹を植樹するなど、里山林を整備し、人と自然の共存を学ぶ交流となる場を整備する。
	11 Kisoジオパークにぎわい創出事業	雄大な木曽川と歴史ある中山道をフィールドとしてにぎわいのあるまちづくりを行う。
	12 生物多様性地域連携促進事業	圏域の自然環境を保全するため、環境フェアの共同開催や圏域内の自然環境調査を行う。
	13 地域情報放送事業	身近な情報の共有化を図るため、ケーブルテレビ「CCNet」やスマホなどでも聞ける「FMら」で地域情報を発信する。
	14 休日急患診療事業	加茂医師会、加茂歯科医師会と連携し、休日の急患患者の診療体制を強化する。
	15 ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援を行うファミリーサポートを広域的に推進する。
	16 エリアサービスマップ事業	圏域内の医療機関、介護保険施設、福祉施設等の総合ホームページを運営する。
	17 幼児療育支援事業	心身に障がいのある子どもの療育教育を連携して進める。
	18 図書システム広域利用事業	図書のシステムの一元化、共同購入等により利便性の向上等につなげる。
	19 生涯学習情報誌等の共同事業	生涯学習機会の充実と、その情報の共有及び共同発信をする。
	20 男女共同参画推進事業	男女共同参画社会を目指し、研修会等を連携して開催するなど、圏域の人づくりと啓発活動を行う。
	21 消費生活センター運営事業	圏域で消費生活相談室を共同設置し、消費者の立場に立った相談業務が行える場を提供する。

※すべて2次ビジョンからの継続事業

※概算事業費は決算額を記載しており、千円未満を四捨五入しているため、小計が一致しない場合があります。

小　計

総　計

概算事業費（千円）						連　携　市　町　村								ページ
R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計									
78	156	117	78	0	429	美濃加茂市							東白川村	14
5,678	5,700	5,716	3,762	2,446	23,302	美濃加茂市	坂祝町	富加町					東白川村	14
53	0	449	247	―	749	美濃加茂市							東白川村	15
3,954	2,875	4,550	3,982	4,127	19,488	美濃加茂市			川辺町			白川町	東白川村	15
8,179	4,609	―	―	―	12,788	美濃加茂市				七宗町				16
44	62	4,660	21,045	14,517	40,328	美濃加茂市		富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	16
0	1,493	1,564	2,396	2,713	8,166	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	17
3,153	3,286	3,461	3,356	3,504	16,760	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町					17
4,873	4,833	7,387	7,484	7,745	32,322	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町				18
26,012	23,014	27,904	42,350	35,052	154,332									

概算事業費（千円）						連　携　市　町　村								ページ
R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	計									
24,999	24,999	24,999	24,999	24,999	124,995	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町				18
13,352	7,645	15,959	4,945	8,393	50,294	美濃加茂市	坂祝町							19
464	3,723	3,779	4,167	5,124	17,257	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	19
45,346	44,917	43,661	43,683	45,352	222,959	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	20
7,360	7,240	7,486	7,397	7,228	36,711	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	20
8,869	8,804	8,418	9,332	10,446	45,869	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町				21
396	396	396	396	396	1,980	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	21
320	522	420	641	658	2,561	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	22
5,919	5,549	5,260	17,000	5,199	38,927	美濃加茂市	坂祝町							22
1,788	1,654	1,781	1,769	1,614	8,606	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	23
30	37	188	68	22	345	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	23
335	139	279	133	22	908	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町					24
109,178	105,625	112,626	114,530	109,453	551,412									
135,190	128,639	140,530	156,880	144,505	705,744									

事業名	《重点事業》 1 健康データ調査分析事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	全体の取りまとめ
		東白川村	既存データ活用に関する調整、研修開催に関する調整
協定項目	(ア)生活機能の強化 健康 健康寿命の延伸に向けた取り組みの推進		

事業概要	期待される効果
圏域住民の健康増進を進め、健康寿命を延伸させるために、健康データの収集・分析を行い、その結果を基に、健康寿命の延伸に向けた既存・新規の事業に反映させる。また、圏域職員のデータを活用する技術向上を図る。	健康に関する取り組みをより効果的に実施することで、圏域住民の健康増進を目指し、圏域住民の健康寿命が延伸される。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
健康に関する健康課題抽出、データの収集	→	→			
健康に関するデータの集計分析・分析結果の活用			→	→	→
データを分析・活用できる職員の人材育成	→	→	→	→	

	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	429	78	156	117	78	0
重要業績評価指標（KPI）	目標値	0	(1)	86.0	87.0	88.0
自分は健康であると思う人の割合（%） （旧：データ分析を活用した実施事業数（回））	実績値	0	(1)	76.1	74.9	72.2

事業名	《重点事業》 2 24時間電話相談窓口事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	業務委託先の選定、検証、24時間相談窓口の周知、ＰＲ
		坂祝町	業務委託先の選定、検証、24時間相談窓口の周知、ＰＲ
		富加町	業務委託先の選定、検証、24時間相談窓口の周知、ＰＲ
		東白川村	業務委託先の選定、検証、24時間相談窓口の周知、ＰＲ
協定項目	(ア)生活機能の強化 医療 広域救急医療体制の充実		

事業概要	期待される効果
24時間365日フリーダイヤルで電話による相談ができる。コールセンターには専門スタッフが常駐し、健康相談、医療相談、介護相談、認知症相談、育児相談に対応する。	24時間365日専門スタッフによる各種相談ができるようになるため、圏域住民が安心して生活できるようになる。また、不要不急の救急を少しでも減らすことにつながり、安定した医療体制が整う。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
業務委託先の選定、検証	→	→	→	→	→
24時間相談窓口の周知、ＰＲ	→	→	→	→	→

	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	23,302	5,678	5,700	5,716	3,762	2,446
重要業績評価指標（KPI）	目標値	400	400	1,200	1,200	1,200
延べ利用回数（回）	実績値	1,064	1,307	1,211	1,369	946

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《重点事業》 3 かもけんウォーキング事業 ※R6年度事業終了	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	企画、調整、募集、開催
		東白川村	企画、募集、開催
協定項目	(ア)生活機能の強化 健康 健康づくり事業の充実		

事業概要	期待される効果
各圏域でウォーキングイベントを開催する。ウォーキングコースに休憩ポイントを設置し、地域の特産品等を提供する。	ウォークイベントを行う事で、運動習慣を身に付けるきっかけづくりを行い、運動をする人が増加する。その結果として健康寿命の延伸につながる。また、ウォークイベントの中に、各圏域の特産品の試食などの楽しみを取り入れることにより、普段ウォーキングに関心のない層からの参加も見込める。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ウォーキングコースの選定・設定	→	→	→	→	—
ウォーキングイベント内容の検討	→	→	→	→	—
ウォーク事業を開催し、参加者の募集、取りまとめ		→	→	→	—
					—

	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	749	53	0	449	247	—
重要業績評価指標（KPI）	目標値	0	200	200	200	—
ウォークイベント参加者数（人）	実績値	0	0	120	131	—

事業名	《重点事業》 4 里山まちづくり事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	プラットフォーム運営、会議運営、コンテンツ実施、情報提供
		川辺町	コンテンツ実施、情報提供、WEB記事の作成
		白川町	コンテンツ実施、情報提供、WEB記事の作成
		東白川村	コンテンツ実施、情報提供、WEB記事の作成
協定項目	(ウ)圏域マネジメント能力の強化 ヒトづくり 里山人材の育成		

事業概要	期待される効果
里山や山村地域の暮らしや文化を知り、伝えていくために聞き書きを実施し、情報としてストックしていく。同時に、暮らしや文化に触れるメニューを掘り起こし、情報をＷＥＢで発信する。また、そのメニューを実施することができる人材の発掘や育成、またこの事業を運営してもらえる民間事業者等の育成を行っていく。	地域住民の里山文化に対する誇り・肯定感の醸成。地域の特色ある暮らしや文化を体験することによるアイデンティティの形成や担い手の確保。自然環境の向上につながる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
聞き書きの実施及び情報発信	→	→	→	→	→
ＷＥＢによる統一的な情報発信	→	→	→	→	→
里山地域の担い手の育成	→	→	→	→	→

	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	19,488	3,954	2,875	4,550	3,982	4,127
重要業績評価指標（KPI）	目標値	(20,000)	(22,000)	80	80	80
地域と関わりを持ち続けたいと感じる人の割合（%） （旧：ホームページ閲覧数（PV））	実績値	(15,639)	(22,564)	94	85	85

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《重点事業》 5 里育事業 ※R4年度事業終了	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	人材育成、広報活動、整備、活用方法の研究
		七宗町	三年番茶の製造に係る人材育成、茶園の整備箇所選定、広報活動、整備方法の検討、三年番茶試作、整備、活用方法の研究
協定項目	(ア)生活機能の強化 産業振興 農林業の振興		

事業概要	期待される効果
子ども（児童生徒）を対象に里山に関する授業や、広く圏域住民にこれらの活動を知ってもらい、圏域の里山に愛着を持ってもらうために、地域のイベントなどで、里山に関するワークショップを実施していく。	里山整備や資源の有効活用を圏域住民と一緒に進めることで、圏域の住民が自分達の手で里山を守るという誇りや、里山に対しての愛着が生まれ、里山の担い手につながる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
三年番茶の製造に係る人材の育成、調査、生産量の把握、試作	→	→	ー	ー	ー
圏域内のイベントで里山についてのワークショップ開催	→	→	ー	ー	ー

		合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)		12,788	8,179	4,609	–	–	–
重要業績評価指標（KPI）	目標値		200	300	–	–	–
事業実施に伴って生まれる関係人数（人）	実績値		100	1,870	–	–	–

事業名	《重点事業》 6 圏域公共交通網整備事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	取りまとめ事務、事業実施
		富加町	事業実施
		川辺町	事業実施
		七宗町	事業実施
		八百津町	事業実施
		白川町	事業実施
		東白川村	事業実施
協定項目	(イ)結びつきやネットワークの強化 地域公共交通 圏域公共交通の整備		

事業概要	期待される効果
各市町村で運行しているコミュニティバスなどの公共交通の維持・確保と圏域内公共交通の連携を図る。圏域としてどのような整備が可能か協議・研究する場を設け、整備を進める。また、圏域公共交通情報の見える化（ＧＴＦＳ化）を進める。	それぞれの市町村が連携を取りながら整備をすることで圏域内を便利に移動できる仕組みが整備され、圏域内全体の暮らしやすさが向上する。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
各市町村での公共交通の維持・確保	→	→	→	→	→
圏域公共交通基本構想の策定	→	→	→	→	→
圏域の公共交通情報の見える化（ＧＴＦＳ化）の実施	→	→	→	→	→

		合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)		40,328	44	62	4,660	21,045	14,517
重要業績評価指標（KPI）	目標値		185,000	190,000	210,000	210,000	210,000
連携市町村年間延べバス利用人数（人）	実績値		176,756	207,911	276,781	295,628	320,792

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《重点事業》 7 地域防災力強化事業
協定項目	(ア)生活機能の強化 防災 広域防災体制の連携推進

連携市町村	役割分担
美濃加茂市	事業全体の取りまとめ
坂祝町	防災イベント、防災訓練、備蓄品管理への参画
富加町	防災士講座、防災イベント、職員研修、備蓄品管理への参画
川辺町	防災士講座、防災イベント、職員研修、備蓄品管理への参画
七宗町	防災士講座、防災イベント、職員研修への参画
八百津町	防災士講座、防災イベント、職員研修、備蓄品管理への参画
白川町	防災士講座、防災イベント、職員研修、備蓄品管理への参画
東白川村	防災士講座、防災イベント、職員研修への参画

事業概要	期待される効果
地域の中心的存在となって動ける人材を育成するとともに、そういった方々が活躍できる体制と機会を創出する。り災証明の発行など、職員研修や防災訓練を共同開催することにより、職員のスキルアップと自治体間の支援体制の強化をしていく。	防災について学ぶ場を連携して提供することにより、地域住民の防災意識向上、人材の育成及び活躍できる体制を構築する。り災証明の発行などの職員研修や防災訓練を共同開催することにより、職員のスキルアップと自治体間の支援体制の強化に繋げる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
圏域合同による防災士養成講座の開催	→	→	→	→	→
誰もが参加したくなるような防災イベントの開催	→	→	→	→	→
り災証明書発行等の職員研修の開催と圏域合同の防災訓練の実施	→	→	→	→	→
防災備蓄品管理システムの共同利用					→

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	合計					
	8,166	0	1,493	1,564	2,396	2,713
重要業績評価指標（KPI）	目標値	200	150	150	150	150
防災士資格取得者　50人 職員研修参加者数 100人	実績値	22	25	133	218	151

事業名	《重点事業》 8 情報の多言語化、発信の支援事業
協定項目	(イ)結びつきやネットワークの強化 地域内外の住民との交流・移住促進 多文化共生の推進

連携市町村	役割分担
美濃加茂市	多言語翻訳、スタッフ養成、日本語講座等の場所の提供
	外国人住民ニーズの把握
坂祝町	スタッフ養成、日本語講座等の場所の提供
	外国人住民ニーズの把握
富加町	外国人住民ニーズの把握
川辺町	外国人住民ニーズの把握

事業概要	期待される効果
生活に必要な行政情報の翻訳、窓口での通訳体制を整えると共に、地域でのコミュニケーションを円滑にするために基本的な日本語習得の機会を提供し、日本人住民に対しても「やさしい日本語」の習得を促す。また、災害時における通訳ボランティアスタッフの養成を通じて、災害時の情報伝達を拡充するとともに、地域のリーダー的存在の育成につなげる。さらに、外国人住民のニーズに合った取組内容とするため、外国人住民から直接意見を聞く場を設ける。	行政又は地域からの情報を正確に受け取ることができ、地域での孤立感を改善することができる。また、日本人住民とコミュニケーションを図ることができ、地域での社会参加がしやすくなることで、地域全体の活性化につながる。また、各市町で開設している日本語教室を圏域の住民が相互に利用することで、日本語習得の機会を拡大することができる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
行政情報の多言語化、発信	→	→	→	→	→
日本語教室の拡充及び日本語教室ボランティアスタッフ養成	→	→	→	→	→
災害時通訳ボランティアの養成及び体制整備	→	→	→	→	→

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	合計					
	16,760	3,153	3,286	3,461	3,356	3,504
重要業績評価指標（KPI）	目標値	43	45	48	50	52
自分で日本語を話せる外国人の割合（%）	実績値	38	33	22	58	51

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《重点事業》 9 のぞみ教室推進事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	外国人児童生徒就学支援学級の実施
		坂祝町	事業参加、協力
		富加町	事業参加、協力
		川辺町	事業参加、協力
		七宗町	事業参加、協力
協定項目	(ア)生活機能の強化 教育 外国人児童・生徒に対する教育環境の整備		

事業概要	期待される効果
日本の学校生活へ適応し、小中学校へ元気に就学できるように、学校生活に必要な日本語や日本の文化を教える。	サバイバル日本語を習得でき、基礎的・基本的な学力を身につけることができ、日本の学校生活にスムーズに適応できる状態となる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
のぞみ教室の実施	→	→	→	→	→

概算事業費(千円)	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	32,322	4,873	4,833	7,387	7,484	7,745
重要業績評価指標（KPI）	目標値	90	90	90	90	100
のぞみ教室に在籍した児童生徒が小学校・中学校に就学後、年度末まで在籍した割合（帰国・転校を除く）（%）	実績値	100	100	100	100	100

事業名	《基本事業》 1 里山再生プロジェクト事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	事業全体の進捗管理、市内森林整備、森づくり、資源活用の推進
			広報活動、企業連携
		坂祝町	事業協力、町内森林整備、資源活用の推進、広報活動
		富加町	事業協力、町内森林整備、資源活用の推進、広報活動
		川辺町	事業協力、町内森林整備、資源活用の推進、広報活動
		七宗町	事業協力、町内森林整備、資源活用の推進、広報活動
協定項目	(ア)生活機能の強化 産業振興 農林業の振興		

事業概要	期待される効果
計画的な里山整備と、地域住民による継続的な里山の維持管理を実施していくために里山資源の有効活用や研究を進めていく。また、これらの活動にさまざまな人たちが関わることで、それぞれの「生きがい」、里山に対しての「愛着」を生み、持続的な活動につなげる。	圏域住民が当たり前のように圏域内の里山整備・活用を持続的に実施している。整備されることにより、有害鳥獣の被害も減少していく。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
森林整備	→	→	→	→	→
資源の有効活用	→	→	→	→	→

概算事業費(千円)	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	124,995	24,999	24,999	24,999	24,999	24,999
重要業績評価指標（KPI）	目標値	(31,000)	(30,000)	20	21	22
地域住民による整備団体数（団体） （旧：圏域有害鳥獣被害額（千円））	実績値	(26,861)	(25,525)	24	23	23

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《基本事業》 2 Kisoジオパークにぎわい創出事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	事業全体の進捗管理、整備、企画、広報、他団体との連携
		坂祝町	事業協力、整備、企画、広報、他団体との連携
協定項目	(ア)生活機能の強化 産業振興 木曽川や旧中山道を活用した観光の推進		

事業概要	期待される効果
河畔空間の魅力向上のため整備や、川のリスクマネージメント、川のある暮らしを体験できるプログラムを企画・実施していく。	川の持つ楽しさや魅力を伝える一方で、川が持つ危険性や万が一危険な状況が起こった場合の対処法などを地域の方（子どもたち）に分かりやすく伝え、事故を防ぐための啓発を行うとともに、川のある暮らしを未来に継承していく人と人との繋がりが生まれます。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ハード整備	→	→	→	→	→
ソフト整備	→	→	→	→	→
美濃加茂スタイルのPR	→	→	→	→	→

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	合計					
	50,294	13,352	7,645	15,959	4,945	8,393
重要業績評価指標（KPI）	目標値	248,000	249,500	251,000	252,500	254,000
事業箇所（堤防道路・リバーポートパーク美濃加茂）の利用人数（人）	実績値	236,037	249,350	268,300	271,747	245,558

事業名	《基本事業》 3 生物多様性地域連携促進事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	事業企画運営、事務局
		坂祝町	事業企画運営
		富加町	事業企画運営
		川辺町	事業企画運営
		七宗町	事業企画運営
		八百津町	事業企画運営
協定項目	(ア)生活機能の強化	白川町	事業企画運営
	環境	東白川村	事業企画運営
	総合的な環境・エネルギー対策の推進		

事業概要	期待される効果
圏域の自然環境を保全するため、8市町村合同で環境フェアを実施し、圏域内外へ情報を発信する。圏域の自然環境調査を継続し、基礎データを充実させる。書籍「守りたい加茂の豊かな自然」を活用した学習会を開催する。生物多様性地域戦略を実践し、地域間交流を深める。	圏域の人々が生物多様性の保全の意識を高めている。また、圏域外からは、圏域の豊かな自然に魅力を感じ、来訪する人が増加する。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
環境フェアの開催	→	→	→	→	→
「守りたい加茂の豊かな自然」の活用、「生物多様性加茂プラン」に基づく取組	→	→	→	→	→

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	合計					
	17,257	464	3,723	3,779	4,167	5,124
重要業績評価指標（KPI）	目標値	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000
圏域住民の関心度 ※環境フェア及び学習会の圏域住民の参加者数（人）	実績値	0	2,527	2,483	2,876	2,400

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《基本事業》 4 地域情報放送事業
協定項目	(イ)結びつきやネットワークの強化 デジタル・ディバイドの解消へ向けたICTインフラ整備 広報連携による情報提供

連携市町村	役割分担
美濃加茂市	事業企画運営、事務局
坂祝町	事業企画運営
富加町	事業企画運営
川辺町	事業企画運営
七宗町	事業企画運営
八百津町	事業企画運営
白川町	事業企画運営
東白川村	事業企画運営

事業概要	期待される効果
圏域を放送エリアとしているコミュニティFM局やケーブルテレビ局と連携して圏域内の情報に特化した番組制作を行い、圏域内の情報を積極的に発信。圏域内の情報格差を無くすとともに、生活圏が共通する自治体間で日常的に情報を共有できる環境を整備する。	コミュニティFMやケーブルテレビを通して、圏域の誰もが情報を入手できる状態になる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
FMラジオ制作・放送（全市町村）	→	→	→	→	→
ケーブルテレビ番組制作・放映（美濃加茂市、川辺町、八百津町、白川町）	→	→	→	→	→
サイマル放送アプリを通した文字情報発信（美濃加茂市、富加町）	→	→	→	→	→

	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	222,959	45,346	44,917	43,661	43,683	45,352
重要業績評価指標（KPI）	目標値	20	30	35	40	40
コミュニティFM放送やケーブルテレビを通して情報を入手している人の割合（%）	実績値	27.5	29	18.2	19.3	16.5

事業名	《基本事業》 5 休日急患診療事業
協定項目	(ア)生活機能の強化 医療 広域救急医療体制の充実

連携市町村	役割分担
美濃加茂市	加茂医師会・加茂歯科医師会と連携して事業実施
坂祝町	事業参加、協力
富加町	事業参加、協力
川辺町	事業参加、協力
七宗町	事業参加、協力
八百津町	事業参加、協力
白川町	事業参加、協力
東白川村	事業参加、協力

事業概要	期待される効果
加茂医師会・加茂歯科医師会との連携のもと、圏域内の休日急患診療体制を強化し、日曜、祝日、年末年始の医療体制を整える。	医療体制の整備を行い、休日等に受診できる医療機関があることにより、圏域住民の安心につながる。また、救急告示病院に患者が集中することを避けることにもつながる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
休日急患診療事業	→	→	→	→	→
休日急患歯科診療事業	→	→	→	→	→

	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	36,711	7,360	7,240	7,486	7,397	7,228
重要業績評価指標（KPI）	目標値	4,200	4,200	3,000	3,500	4,000
延べ利用人数（人）	実績値	1,795	3,244	3,085	3,003	2,327

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《基本事業》 6 ファミリー・サポート・センター事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	事業実施、広報
		坂祝町	事業参加、協力、広報
		富加町	事業参加、協力、広報
		川辺町	事業参加、協力、広報
		七宗町	事業参加、協力、広報
協定項目	(ア)生活機能の強化 福祉 子育て支援サービスの強化		

事業概要	期待される効果
子育てを手伝って欲しい人と、子育ての手伝いをしたい人たちが、会員となって地域でお互いに助け合いながら子育てを応援する。	仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境を整えることで、子育て中の保護者の負担軽減ができ、安心して楽しく子育てができる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
利用調整	→	→	→	→	→
研修会開催	→	→	→	→	→
利用・サポート会員の交流会開催	→	→	→	→	→
サポート会員増加	→	→	→	→	→

	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	45,869	8,869	8,804	8,418	9,332	10,446
重要業績評価指標（KPI）	目標値	800	830	900	920	920
延べ利用人数（人）	実績値	1,532	901	1,366	1,312	889

事業名	《基本事業》 7 エリアサービスマップ事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	ホームページの運営・管理・契約等の事務、住民周知
		坂祝町	事業参加、協力、ホームページ情報更新、住民周知
		富加町	事業参加、協力、ホームページ情報更新、住民周知
		川辺町	事業参加、協力、ホームページ情報更新、住民周知
		七宗町	事業参加、協力、ホームページ情報更新、住民周知
		八百津町	事業参加、協力、ホームページ情報更新、住民周知
協定項目	(ア)生活機能の強化 福祉 福祉サービスの向上に対する環境の整備	白川町	事業参加、協力、ホームページ情報更新、住民周知
		東白川村	事業参加、協力、ホームページ情報更新、住民周知

事業概要	期待される効果
医療機関、介護保険施設、福祉施設等を総合的に紹介するホームページを運営し、広く周知する。	加茂地区圏域の福祉、医療サービス事業所情報がすばやく検索でき、いざという時に安心して生活できる環境が整備されている。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ホームページ「エリアサービスマップ」の運営、管理	→	→	→	→	→
ホームページ「エリアサービスマップ」の周知	→	→	→	→	→

	合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	1,980	396	396	396	396	396
重要業績評価指標（KPI）	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
エリアサービスマップの閲覧数（PV）	実績値	22,429	27,749	22,481	19,852	19,280

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《基本事業》 8 幼児療育支援事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	合同研修開催、人材育成研修実施、専門職支援実施、
			講師等連絡調整事務、各町村連絡調整事務
		坂祝町	合同研修参加、人材育成研修実施、専門職支援実施
		富加町	人材育成研修実施、専門職支援実施
		川辺町	合同研修参加、人材育成研修実施
		七宗町	合同研修参加、人材育成研修実施、専門職支援実施
協定項目	(ア)生活機能の強化	八百津町	合同研修参加、人材育成研修実施、専門職支援実施
	福祉	白川町	合同研修参加、人材育成研修実施、専門職支援実施
	幼児療育支援の質の向上	東白川村	合同研修参加、人材育成研修実施、専門職支援実施

事業概要	期待される効果
定住自立圏域にある発達支援センター及び各教室全体の療育の質を高めるため、1市7町村の療育者及び関係者が時と場を共にして研修を行う。	重度重複障がい～軽度発達障がいの基礎知識及び支援方法を学ぶことで、障がいの種類や程度を問わず療育支援の実施ができるようになる。また、1市7町村、どこの地域でも同じ質の専門的支援を受けることができる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
療育支援関係職員の合同研修会の開催	→	→	→	→	→
人材育成のための合同研修会の開催	→	→	→	→	→
作業療法士等の専門職の共同派遣依頼	→	→	→	→	→

		合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)		2,561	320	522	420	641	658
重要業績評価指標（KPI）	目標値		90	90	100	100	100
受講内容が療育に活かせると感じる職員の割合（%）	実績値		100	100	100	100	100

事業名	《基本事業》 9 図書館システム広域利用事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	システムの運営・管理、研修やイベントの開催
		坂祝町	事業参加、協力
協定項目	(ア)生活機能の強化		
	教育		
	図書館相互利用の促進		

事業概要	期待される効果
利用者がより身近に図書館を利用できる環境を整備するために、美濃加茂市立図書館・坂祝町中央公民館図書室が、図書資料及び図書館機器等、図書館運営の全般を共同運用する。	利便性が高まり図書館の利用が増えることにより、読書普及はもとより情報の拡散、人の交流が活発になる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
共同システムの運営・管理	→	→	→	→	→
研修やイベントの開催	→	→	→	→	→

		合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)		38,927	5,919	5,549	5,260	17,000	5,199
重要業績評価指標（KPI）	目標値		14,860	15,120	15,190	15,220	15,250
貸出冊数（冊）※美濃加茂市で坂祝町民が借りた冊数＋坂祝町で美濃加茂市民が借りた冊数の合計	実績値		15,408	15,866	16,059	17,631	18,669

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《基本事業》 １０ 生涯学習情報誌等の共同事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	生涯学習情報誌の発行、ホームページの運営・管理
		坂祝町	事業参加、協力
		富加町	事業参加、協力
		川辺町	事業参加、協力
		七宗町	事業参加、協力
		八百津町	事業参加、協力
協定項目	(ア)生活機能の強化	白川町	事業参加、協力
	教育	東白川村	事業参加、協力
	生涯学習機会の充実		

事業概要	期待される効果
圏域住民に多様で豊富な生涯学習機会を提供するため、圏域の各市町村で開催される講座情報をまとめて掲載した生涯学習情報誌「学びのとびら」を発刊する。また、若い世代を含めた多くの住民が手軽に生涯学習情報を入手できるよう、専用のホームページによる、情報提供も行う。	住民の学習環境が進み、学習機会が充実することによって、住民の学習欲求が満たされる。また、学習を通じた住民の交流が進む。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
生涯学習情報誌「学びのとびら」の発行	→	→	→	→	→
生涯学習情報ホームページの運営・管理	→	→	→	→	→
既存の手法以外での情報提供	→	→	→	→	→

		合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)		8,606	1,788	1,654	1,781	1,769	1,614
重要業績評価指標（KPI）	目標値		3,700	2,000	2,000	2,500	2,500
定住自立圏域共同開設講座の延べ受講者数（人）	実績値		1,822	2,442	2,395	2,292	2,479

事業名	《基本事業》 １１ 男女共同参画推進事業	連携市町村	役割分担
		美濃加茂市	研修会、勉強会、講演会等の企画、運営、協力
		坂祝町	研修会、勉強会、講演会等の企画、運営、協力
		富加町	研修会、勉強会、講演会等の企画、運営、協力
		川辺町	研修会、勉強会、講演会等の企画、運営、協力
		七宗町	研修会、勉強会、講演会等の企画、運営、協力
		八百津町	研修会、勉強会、講演会等の企画、運営、協力
協定項目	(ア)生活機能の強化	白川町	研修会、勉強会、講演会等の企画、運営、協力
	男女共同参画	東白川村	研修会、勉強会、講演会等の企画、運営、協力
	男女共同参画推進		

事業概要	期待される効果
男女共同参画の考え方を浸透させるために、研修会等を圏域で連携して開催し、啓発活動と圏域の人づくりを行う。	「女性だから」「男性だから」とは関係なく、ひとりひとりの個性を理解しあい、責任も分かち合える考え方の人が増加することで、いきいきとした生き方ができる地域になる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
研修・勉強会の開催	→	→	→	→	→
啓発活動	→	→	→	→	→

		合計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)		345	30	37	188	68	22
重要業績評価指標（KPI）	目標値		77.0	77.5	78.0	78.5	79.0
固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合（アンケート）（%）	実績値		78.6	75.6	82.4	81.1	74.0

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

事業名	《基本事業》 １２ 消費生活センター運営事業
協定項目	(ア)生活機能の強化 消費生活 消費生活センター運営

連携市町村	役割分担
美濃加茂市	消費生活センター設置、運営、相談員研修参加
坂祝町	事業参加、情報共有、啓発活動協力
富加町	事業参加、情報共有、啓発活動協力
川辺町	事業参加、情報共有、啓発活動協力

事業概要	期待される効果
広域消費生活相談室を常設し、専門的知識と技術を有する消費生活相談員を配置することで、多種多様な相談に対する迅速かつ的確な対応や、消費者被害の傾向を早期に把握及び情報を共有し、幅広く消費者被害の未然防止が図れる。	連携自治体の中で、「広域消費生活相談室」が広く認知され、地域における消費生活の安全・安心の拠点として機能を維持・充実し、消費者被害防止につながる。

実施スケジュール	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
消費生活センターの設置	→	→	→	→	→
情報提供及び啓発活動の実施	→	→	→	→	→
消費生活相談員の資質向上	→	→	→	→	→

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
概算事業費(千円)	合計					
	908	335	139	279	133	22
重要業績評価指標（KPI）	目標値	8	9	10	11	12
消費者被害救済件数割合（%）	実績値	8.4	15.1	10.3	12.9	16.5

（注）事業費は、毎年度の決算、予算により定めます。決算額を記載しています。

6　みのかも定住自立圏のあゆみ

1 総務省定住自立圏構想

今後、総人口の減少及び少子化・高齢化の進行が見込まれています。今後は、三大都市圏でも人口減少が見込まれますが、特に地方においては、大幅な人口減少と急速な少子化・高齢化が見込まれています。このような状況を踏まえ、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

2 中心市宣言

一定の要件を満たす「中心市」が「中心市宣言」により圏域の中心的な役割を担う意思を表明します。美濃加茂市は、平成２１年3月２４日に行いました。

3 定住自立圏形成協定

住民生活等において密接な関係となる周辺の町村との間で、議会の議決を経た後に、１対１で「定住自立圏形成協定」を締結しました。協定の締結の経緯は次のとおりです。

平成２１年１０月２６日　美濃加茂市と坂祝町と締結
平成２２年　9月３０日　美濃加茂市と川辺町と締結
平成２３年　3月２８日　美濃加茂市と富加町及び七宗町と締結
平成２３年　9月２９日　美濃加茂市と白川町と締結
平成２３年１２月２２日　美濃加茂市と八百津町及び東白川村と締結

4 みのかも定住自立圏（第１次）共生ビジョン策定

美濃加茂市は、共生ビジョン懇談会での検討を経て、連携町村との協議の上、「（第１次）共生ビジョン」を策定しました。

みのかも定住自立圏（第１次）共生ビジョン策定の経緯は次のとおりです。

平成２２年　5月１０日　みのかも定住自立圏（第１次）共生ビジョン策定（坂祝町参加）
平成２３年　5月２３日　第１回変更（川辺町参加）
平成２３年１１月　１日　第２回変更（富加町・七宗町参加）
平成２４年　４月　２日　第３回変更（白川町・八百津町・東白川村参加）
平成２５年　４月２４日　第４回変更
平成２６年　４月　１日　第５回変更

5 みのかも定住自立圏第２次共生ビジョン策定

平成２７年　４月　１日　みのかも定住自立圏第２次共生ビジョン策定
平成２７年１０月　１日　第１回変更
平成２８年　４月　１日　第２回変更
平成２９年　４月　１日　第３回変更
平成３０年　４月　１日　第４回変更
平成３１年　４月　１日　第５回変更
令和　２年　４月　１日　第６回変更
令和　３年　４月　１日　第７回変更

6 みのかも定住自立圏第３次共生ビジョン策定

令和　３年　４月　１日　みのかも定住自立圏第３次共生ビジョン策定
令和　４年　７月　１日　第１回変更
令和　５年　７月　１日　第２回変更
令和　６年　７月　１日　第３回変更
令和　７年　４月　１日　第４回変更
令和　７年　６月　１日　第５回変更
令和　８年１１月　１日　第６回変更



SDGsとは・・・

「Sustainable Development Goals」の略称であり、持続可能な開発目標を示し、正式名称は「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030年アジェンダ」となっています。2001年に策定され、2015年に達成期限を迎えたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。

2016年から2030年までの期間で達成を目指し「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載されています。17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）こと」を誓い、SDGsは発展途上国のみならず先進国自身が取り組む普遍的なものとなっています。

みのかも定住自立圏を推進することは、持続可能なまちづくりにつながり、SDGsの達成に貢献する取組です。

みのかも定住自立圏マスコットキャラクター



かも美



かも丸

みのかも定住自立圏第３次共生ビジョン
【第６回変更】

発 行 年 月　令和８年１１月
発　　行　美濃加茂市経営企画部
定住自立圏推進室（企画課）
〒５０５－８６０６
美濃加茂市太田町３４３１番地１
電話　０５７４－２５－２１１１